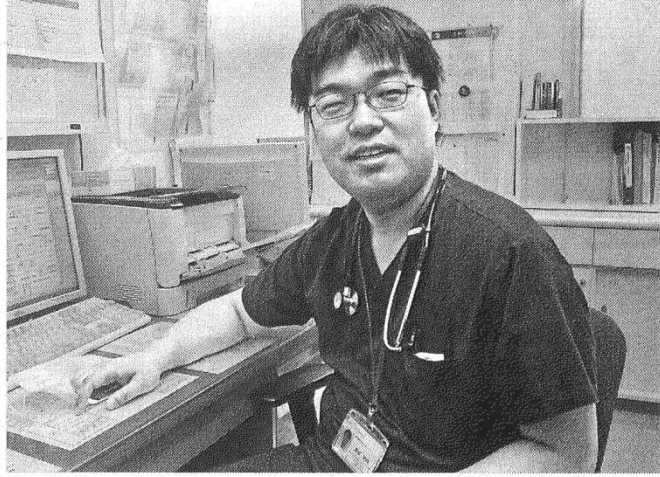


健康ひろば・胆振

糖尿病内科を新設

合併症予防など態勢強化

製鉄記念室蘭病院



「糖尿病内科」の役割などを説明する高田
糖尿病内科長・循環器内科主任医長

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)は本年度、診療科に「糖尿病内科」を新設した。さまざまな合併症を抱える糖尿病患者への専門的な治療の強化や、合併症の予防、病診連携を図るため、在籍する専門医をさらに生か

す態勢とした。診察は高田明典糖尿病内科長・循環器内科主任医長と、飛澤利之循環器内科医長が担当する。糖尿病は、男性の約20%、女性は約9%に糖尿病が強く疑われる報告(2015年国民健康・栄

養調査)もある状況だ。その一方で自覚症状が無い人も多く、そのままの状態が日常生活を送った結果、命に関わる合併症を

引き起こす場合もある。同病院は前年度まで、循環器内科が糖尿病患者の診察を担当していたが、糖尿病内科の新設によって、患者側が受診しやすくなるだけでなく、目や腎臓、神経障害などの合併症が疑われる際の早急な検査など、総合病院らしい機動力も発揮できるといふ。

食事療法と運動療法が基本だが、近年は新薬も多数登場するなど、「よりの専門的な治療を行うこと」で、合併症の予防も期待できる(高田糖尿病内科長)。一方、軽度の場合には日常的な診療や健康管理などを行う「かかりつけ医」とのスムーズな連携も図れる。

同病院では、「糖尿病患者は増加しており、特に高齢化が顕著。皆さまに、より良い糖尿病医療を提供できれば」(前田病院長)としている。診察日は月・金曜日で、受付時間は午前8時半から午前11時まで(午後は予約のみ)。問い合わせは同病院糖尿病内科、電話0143・44局4650番(午後3時〜同4時半)へ。(松岡秀宜)